

出張報告書

令和元年6月20日

職氏名 市議会議員 濱岡 歳生	用務 地方から考える社会保障フォーラム参加
期間 令和元年5月8日から 令和元年5月9日まで	出張先 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3階 ビジョンセンター東京有楽町

意見・調査事項

地方から考える社会保障フォーラムセミナーが5月8日～9日にかけて開催された。

講義1 人口減少の現実（長期的、短期的）と対応策（方向性）

金子隆一氏 明治大学政治経済学部特任教授（前国立社会保障人口問題研究所副所長）

講義2 「社会保障・地方の課題とは？」

辻 哲夫氏 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、元厚生労働事務次官

講義3 「これからの高齢者福祉—公的保険でやること地域でやること」

大島 一博氏 厚生労働省老健局長

9日

講義1 「新年度厚生労働省予算の概要—自治体にとっての影響は？」

横幕 章人氏 厚生労働省大臣官房会計課長

講義2 「厚生労働省の自殺対策—自殺予備軍を地域で支える」

萩原 竜佑氏 厚生労働省社会・援護局総務課 自殺対策推進室室長補佐

講義1では人口減少と少子高齢化で、有権者の内「65歳以上」の割合は1065年には10.0%だったが、2016年には33.3%に上昇し、2065年には44.7%に達するとの推計を示した。政治や経済、社会保障にすることを提案。「年齢や障害により身体などに制約がある人々の生産性を制度により引き出し、本当の意味での全員参加社会を構築していくことが望ましい」と述べた。

講義2では、「社会保障・地方の課題は？」をテーマに講演。在宅医療と多職種連携システム確立の試みである柏プロジェクトの取組みを説明し、超高齢・人口減少の同時進行に対し、「コンパクトシティを目指すためには、市町村と医師会が組んで、在宅医療の連携拠点を作ることが大事。今後は市町村の力量が問われており、市町村が本気で取り組むべきだ」と述べた。

講義3では、「これからの高齢者福祉—公的保険でやること地域でやること—」をテーマに講演した。現下の介護の課題として◇人手不足◇認知症◇財政の持続性—を指摘し、「この3つの課題に対し、どのように介護保険をうまく使っていけるか」と述べた。その上で、介護保険のあり方として、人口減少時代への適合や予防への支援、社会参加・地域貢献への拡大、地域共生社会の視点をあげた。また3月にまとめた自治体とのコミュニケーションツールとしての事例集「これからの地域づくり戦略」を紹介。「やはり地域づくりをやらないと、全体を介護保険の給付だけで支えることは難しい。住民相互のなかで生きがいややりがいを見出すことが必要だ」と述べ、今後、同事例集を活用した意見交換を全国的に展開する方針を示した。

9日は横幕章人・厚生労働省大臣官房会計課長の「新年度厚生労働省予算の概要」、萩原竜佑・厚生労働省社会・援護局総務課自殺対策推進室室長補佐の「厚生労働省自殺対策—自殺予備軍を地域で支える」の講演が行われた。

第18回

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新の政策動向から考える

セミナー開催のご案内

政府は2019年度予算案で高齢化などに伴う社会保障費の自然増分を約4800億円に抑え、「全世代型」の社会保障への転換を進めるとしています。これからも続く超高齢社会にふさわしい社会保障システムのあり方とは？

講演予定講師・テーマ

辻 哲夫氏 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、元厚生労働事務次官
「社会保障・地方の課題とは？」

金子 隆一氏 明治大学政治経済学部特任教授
「人口減少の現実(長期的、短期的)と対応策(方向性)」

大島 一博氏 厚生労働省老健局長
「これからの高齢者福祉」

横幕 章人氏 厚生労働省大臣官房会計課長
「新年度厚生労働省予算の概要」

萩原 竜佑氏 厚生労働省社会・援護局総務課自殺対策推進室室長補佐
「厚生労働省の自殺対策—自殺予備軍を地域で支える」

今回も厚生労働省の政策担当者や、専門家からダイレクトに社会保障政策の方向性を聞くと同時に地方議員の皆様との貴重な意見交換の場となれば幸いに存じます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※第17回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子

日時 **2019年5月8日(水)、9日(木)**

参加費 5月1日(水)までに27,000円(消費税込み)をお振込みください。

会場 (貸会議室) ビジョンセンター東京有楽町 〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3階

定員

100名

定員になり次第
締切

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局 〒100-0017 東京都千代田区内神田2-5-3 兎谷ビル3F 社保研ティラール内 TEL:03-9253-0570 / FAX:03-3527-1028

社会保険研究部 事務局 〒100-0017 東京都千代田区千代田1-1-1 社会保険出版社 06フェイスブック

PROGRAM 第18回 地方から考える「社会保障フォーラム」

5/8 (水)

1日目

- 12:00~ 受付開始
- 12:45~ 開講の挨拶、オリエンテーション
- 13:00~14:00 **講義1**「人口減少の現実(長期的、短期的)と対応策(方向性)」
金子 隆一氏 明治大学政治経済学部特任教授(前国立社会保障人口問題研究所副所長)
- 14:00~14:30 討議(30分間)
- 14:30~14:40 休憩(10分間)
- 14:40~15:40 **講義2**「社会保障・地方の課題とは？」
辻 哲夫氏 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、元厚生労働事務次官
- 15:40~16:10 討議(30分間)
- 16:10~16:20 休憩(10分間)
- 16:20~17:20 **講義3**「これからの高齢者福祉－公的保険でやること地域でやること」
大島 一博氏 厚生労働省老健局長
- 17:20~17:50 討議(30分間)
- 17:50~ 情報交換会 ※講師のご参加者はオリエンテーションにて告知します。
- 18:50 終了

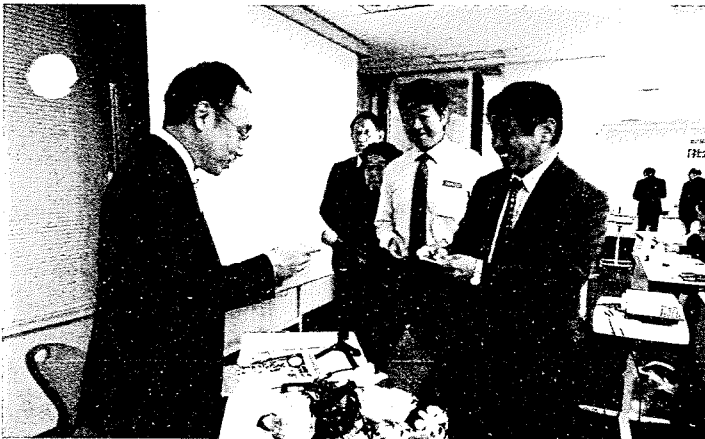
5/9 (木)

2日目

- 9:30~ 受付開始
- 10:00~11:00 **講義1**「新年度厚生労働省予算の概要－自治体にとっての影響は？」
横幕 章人氏 厚生労働省大臣官房会計課長
- 11:00~11:30 討議(30分間)
- 11:30~12:30 昼休み(60分間)
※12:20~12:30 **ランチャブレイクセミナー** (株)社会保険出版社 間宮 将人「地方自治体における地域包括ケアシステムの取組例」
- 12:30~13:30 **講義2**「厚生労働省の自殺対策－自殺予備軍を地域で支える」
萩原 竜佑氏 厚生労働省社会・援護局総務課 自殺対策推進室室長補佐
- 13:30~14:00 討議(30分間)
- 14:00~14:10 休憩(10分間)
- 14:10~14:55 **聴いてトクする 社会保障** 年友企画(株) 大山 均「年金のとりあげ方－2つの媒体－」
(株)社会保険研究所 谷野 浩太郎「診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定と処遇改善加算」
- 14:55~ 終了の挨拶 次回開催のお知らせ
- 15:00 終了

※ 講師・テーマは予告なく変更されることもありますので予めご了承ください。※ 昼食は各自でお取りください。

第17回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子



社会保障フォーラムが全面協力！

『サンデー毎日』新連載 毎週火曜日発売

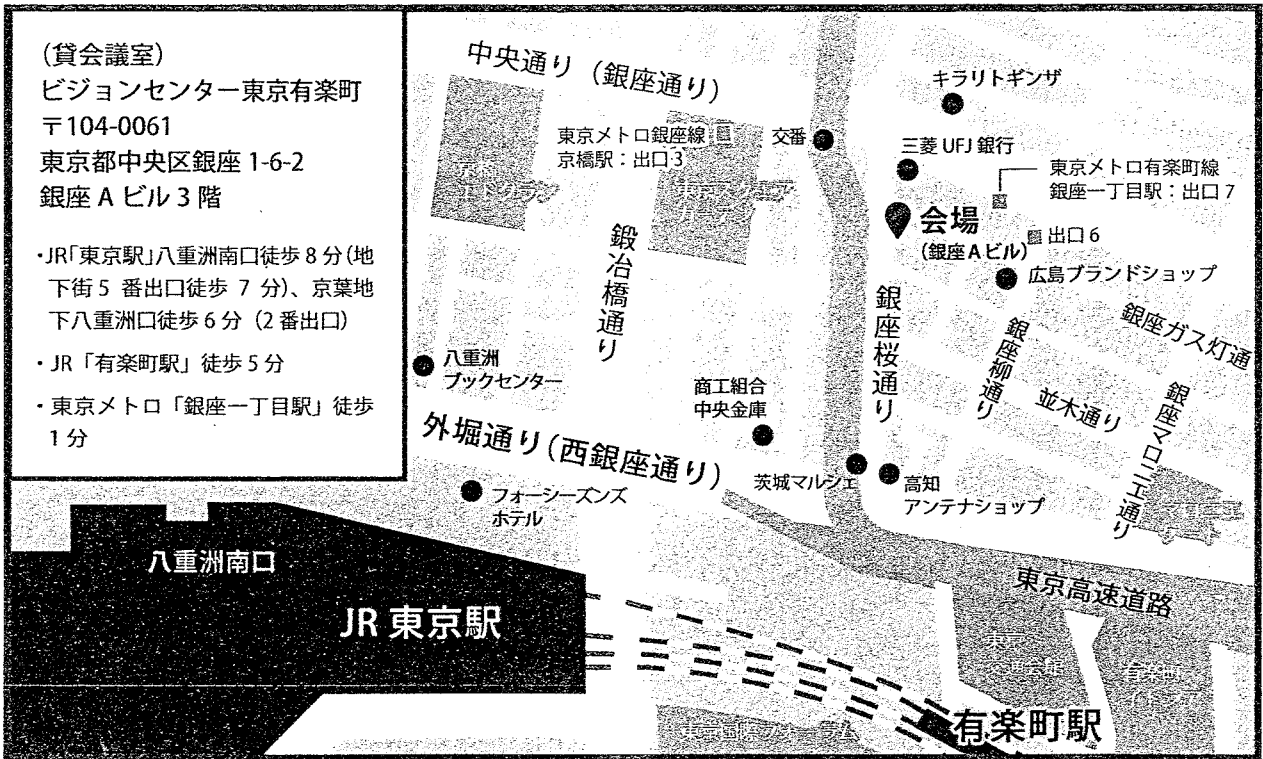
週刊誌としては日本で最も古い歴史を持つ『サンデー毎日』に、私ども社会保障フォーラムが協力するなかで、新たな企画記事が始まりました。(10.28 2018号から)

タイトルは「プロがこっそり教える 読んでトクする社会保障」。文字通り、社会保障に関する最新情報を、読者に届けるというのが趣旨です。現在、私共のフォーラムの運営に協力していただいている専門家が交代で執筆しています。

地域から全国に発信しませんか

今後もフォーラム事務局は「読んでトクする社会保障」の編集作業に協力してまいります。同連載のテーマは、医療、年金、介護、高齢者・障がい者福祉、生活保護など多岐にわたります。地方議員の皆さんが日々地域で取り組み、実現された数多くの成果の中で、全国に発信すべき情報をお持ちで、執筆してみたいお考えがありましたら、事務局までお問い合わせください。

会場案内図



後援

社会保険旬報 21

社会保険旬報 — 医療に関わる全ての情報を提供 —

Web版 無料会員募集中です!



- ・医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
- ・介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
- ・社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。

Web 医療と介護

<https://info.shaho.co.jp/iryou/>

SINCE 1973

年金時代

<https://info.shaho.co.jp/nenkin/>

見本誌をご希望の方、購読のお申込みをしたい方は(株)社会保険研究所までご連絡ください。
TEL: 03-3252-7901(代)

第18回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな	所属議会
ご住所	〒□□□-□□□□	電話番号
		FAX
		Eメールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 FAX 03-3527-1028 または

Email tirare@abelia.ocn.ne.jp でお申し込みください。

- お申し込みをいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス記載のない場合はFAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。
- 事務局からメールが届きましたら、右記の口座へ参加費をお振込みください。

【振込先】三菱UFJ銀行 神保町支店
【口座番号】(曾) [REDACTED]

お問い合わせ先 TEL 03-3253-0570 ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

社保研ダイヤールのホームページからもお申し込みいただけます。 <http://tirare.jp/>